

MIDORI KITAKYUSHU みどり北九州



北九州緑化協会

発行所

一般社団法人 北九州緑化協会

〒802-0026 北九州市小倉北区大倉2-10-1

発行人/藤田良司 編集/広報委員会

TEL.093-482-2200 FAX.093-482-2210

e-mail : info@kita-ryokka.or.jp

ホームページアドレス : <http://www.kita-ryokka.or.jp>

第 55 号

令和5年
10月発行

◎ご挨拶

北九州市長 武内 和久 会長 藤田 良司

◎こちら公園緑地部 「到津の森公園南側エントランスの整備について」

◎環境と緑 令和4年度 公益活動報告

第14回 都市と自然の共生 シンポジウム

基調講演①「グリーンインフラと自然活用地域創生」

岩浅 有記 大正大学地域構想研究所 准教授

基調講演②「自然をプラスにする経済・社会への大転換」

原口 真 MS&AD インターリスク総研(株) フェロー

第46回 北九州市都市緑化祭への出展協力

到津の森公園園内緑地保全整備支援活動

◎初めまして「〇〇」です

◎次世代を担う経営者たち

◎グッドニュース

樹木医試験合格者のご紹介

◎令和4年度 協会活動報告

◎会員名簿

◎『響灘緑地研修館』貸出のご案内

ご挨拶



北九州市長 武内 和久

一般社団法人北九州緑化協会の皆様におかれましては、日頃から北九州市の都市緑化や公園緑地の維持管理など、多大なご尽力をいただき、ありがとうございます。この度は、貴協会が設立40周年を迎えられましたことに心からお喜び申し上げます。

さて、北九州市は令和5年2月に市制60周年を迎えました。

北九州市が持つまちの力、産業の力、人の力というポテンシャルを呼びさし、「稼げるまち」への挑戦を見据えた、新しい市政に取り組んでまいります。

市制60周年記念事業として、第34回全国「みどりの愛護」のつどいが、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席のもと、勝山公園などにおいて開催され、全国の緑の関係者が一堂に集いました。貴協会のご協力に改めてお礼申し上げます。

さらに、北九州市で初開催となった国際自転車ロードレース「マイナビツール・ド・九州2023」(勝山公園)や、「竜王戦七番勝負」(旧安川邸(夜宮公園))、「平成中村座小倉城公演」(勝山公園)の開催など、公園を活用して、まちに元気にぎわいを創出していきます。

また、北九州市内の他の公園も記念の年を迎えています。到津の森公園(開

園20周年)では、Park・PFI事業を活用した「南側エントランス」の整備、ソラランド平尾台(開園20周年)では、大型アスレチック施設「平尾台アスレ」、グリーンパーク(開園30周年)では、大型すべり台「太陽の丘」エリアがオープンし、多くの家族連れで賑わっています。

今後とも、公園やみどりを活用して、うるおいや、にぎわいのある高質なまちを目指してまいります。

結びに、貴協会の今後ますますの発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



令和5年度を迎え、新型コロナウイルス感染症における様々な制限もようやく緩み、前向きに活動できる「日常」がかなり戻ってきました。

さて、この街のことを考えてみました。武内和久新市長が言われるとおり、この街には厚みのある産業と人材、また未来へ有用なる可能性を持つポテンシャルがあると思います。

しかし、数年前の大手コンサルティングが政令指定都市及び東京都区部(21都市)を対象に調査した「市民のプライドランキング」の結果によると、わが街、北九州市民は「地元」に対する愛着度がかなり高い一方で、シビックプライド(まちに対する市民の誇り)をあまり持っていないことが浮き彫りになりました。自分の住む街への愛着度と誇りとの差の大きさは何と最下位です。市民の多くは北九州市が大好きだけど、この街に誇りが持てないと云うのが現状なのです。

また、違う視点からこの街を見てみました。大都市ながら突出する人口減少がよく話題にあがりますが、本市より人口の少ない「県」が9つあります。また本市のGDPは4兆円弱、東南アジアのカンボジアを大きく上回り、中央アメリカのエルサルバドルやホンジュラスと同等の経済規模です。加えて若者が集まる



一般社団法人北九州緑化協会
会長 藤田 良司

15を超える大学・短大があり、また大型ジェット機の離着が24時間可能となる滑走路の延長が決まり、世界に開かれる北九州空港が5年後には稼働します。また大都市としては海と山に恵まれ自然も豊かで地震災害の恐れも少ない街です。

今後、我々会員(市民)においても『住みたい街、住み続けたい街』をつくるために出来ることがたくさんあるのではないのでしょうか。

『市が私たちに何をしてくれるのかを問うのではなく、我々がこの街のために何を成すことができるのか』を一緒に問うてみませんか！

今、この街は変わろうとしています。いや変えなければならぬと考えます。

企業市民である我々も自社の為、自分自身のためにまず一步のアクションを起しませんか！





到津の森公園南側 エントランスの整備について



到津の森公園南側エントランス 完成写真

【到津の森公園】
到津の森公園は、「市民と自然を結ぶ窓口」を基本理念とし、自然環境や動物とのふれあいを通じて命の大切さなどを学習する自然環境教育施設です。

前身である到津遊園の閉園発表後、存続を望む市民の強い声を受け、平成14年に市民が支える公園として生まれ変わりました。その後、多くの市民の皆様に支えられ、昨年4月に開園20周年を迎えました。

敷地面積は約10.6haあり、園内には、ソウヤキリン、ライオンなどをはじめとした約90種480点の動物を展示するとともに、観覧車やメリーゴーラウンドなどの遊具、芝生広場などがあり、家族がそろって一日ゆっくり見学し、くつろげるような公園となっています。

【事業目的】

到津の森公園の入場者数については、リニューアルオープンした平成14年度の約68万人をピークに、近年は約38万人でほぼ横ばいとなっており、入場者数の増加に向けた集客対策が必要となっています。

こうした中、園内では食事や休憩ができるスペースが不足しているほか、公園の南側エントランスは、幹線道路から奥まった場所にあるため印象が薄い空間となっているといった課題がありました。

そこで、南側エントランスにおいて、Park・PFI※により民間活力を活用して、飲食施設や動物公園にふさわしいエントランス施設を整備し、公園全体の賑わいづくりや魅力向上を図ることにしました。

【事業者の選定】

令和元年に民間活力の導入について検討するためマーケットサウンディングを実施しました。その結果を踏まえ、南側エントランスの整備にPark・PFIを活用することを

決定しました。令和3年10月より事業者を公募し、令和4年2月に大和リース株式会社九州支店を事業者として選定しました。

【整備概要】

令和4年7月より工事に着手し、令和5年3月に新たなエントランス施設が完成しました。新しいエントランスには、人気カフェ店であるスターバックスコーヒーが出店するほか、等身大のキリンが描かれたキリンエレベーターをはじめ、授乳室やキッズトイレを備えた受付棟などを整備しました。さらに、アニマルモニュメントや動物の足跡サインにくわえ、動物園をモチーフにしたバス停を設置するなど、来園者の期待感を高めるような様々な工夫を施しました。

今回整備した南側エントランスを通り、さらに多くの人々に来園していただけるよう、今後とも到津の森公園の魅力向上に努めてまいります。

(記：建設局公園緑地部)



園名板



動物園をモチーフにしたバス停



スターバックスコーヒー



キリンエレベーター



ゾウのアニマルモニュメント



受付棟「森の案内所」

※Park-PFI

平成29年の都市公園法改正により創設された、飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を公募により選定する「公募設置管理制度」のこと。



第14回 都市と自然の共生 シンポジウム

令和4年11月22日、協会研修施設『響灘緑地研修館』において、本年度第14回目となる標記シンポジウムを開催し、大正大学地域構想研究所准教授の岩浅有記氏、MS&ADインタースタッフ総研(株)フェローの原口真氏にご講演いただきました。
講演の概要は次のとおりです。
※全講演内容は当協会HPで動画をご覧ください。

基調講演①

「グリーンインフラと自然活用地域創生」

大正大学地域構想研究所
准教授 岩浅 有記氏



【現場での経験から】

環境省で佐渡のトキ保護プロジェクトに携わっていた時、国際自然保護連合(IUCN)の方が言われた「生き物に焦点を当てたプロジェクトは、失敗する。」という言葉に衝撃を受けた。自然共生や生物多様性の1点推しでは、自然保護は広がっていかない。地域やその基幹産業である農業が衰退しているため、人に焦点を当てな

ければならない。

グリーンインフラ(GI)で重要なのは、環境と経済と社会のトライアングルの関係で、環境ファーストだけでは駄目、経済ファーストだけでも駄目である。

地域ファーストで地域を一番大事にして、環境と経済をうまく連動させながら新しい地域をつくって元気にすることが重要である。

また沖繩と奄美を世界自然遺産に登録する仕事に関わった時、GIの一つであるアドベンチャーツーリズム(AT)に出会った。コロナ前のインバウンドがそうであったように、世界遺産になると自然地域に人がドンドン入って来て、地域社会が混乱し自然も壊れてしまう。そこにATを導入して少人数・体験型の旅行にすることで、訪れる人数を減らし、またガイドを付けたり地元の公民館に泊まったりして地域の文化を体験し、長期滞在・アクティビティなどで一人当たりの消費単価を上げていく。こうした持続可能な新しい観光をやっていくこととする動きがある。

【GIの二つの側面と地域創生】

地域においてGIは、環境保全、地域活性化、防災・減災等の多様な側面を統合して進めることが重要である。GI研究会では、GIを「自然が持つ多様な機能を賢く利用することで、持続可能な社会と経済の発展に寄与するインフラや土地利用計画」と定義し、自然が持つ多様な機能を10以上示している。

一方でGIには土地利用計画も含まれる。高度成長期には河川の氾濫区域に工場ができて住宅が建つなど都市化が進んだが、今後、人口が減少していく地域では、中長期的な視点からみて危険度の高いエリアからは撤退し、自然が持つ減災機能を賢く利用していく必要がある。地域社会をベースに、環境と経済の視点をしっかりと踏まえることで、地域創生にも役立つ。

ATの世界組織(AITL)の議論の中で、「経済ファーストでやってしまうと環境にも地域にも色々な弊害がある。20世紀にはそのやり方で開発成長の恩恵が得られたが、自然やコミュニティにはネガティブな要素もあった。」との考えが示された。その後、経済ファーストから環境ファーストになり、自然を守るためにATが手段として用いられた側面もあったが、現在では「地域をいかに持続可能で元気なものにしていくか」が最も重要であるといった考えに一致した。

【流域治水と地域循環共生圏】

GIの最近の流れに、流域治水がある。治水は、河川区域の中で対策するのも大事だが限界もある。流域全体を見る必要があり、山の上から田んぼの部分も含めて「ゆっくり流す」という考えで防災・減災に資する色々な環境をつくり、生き物の生息環境を再生していく多面的な考えが流域治水である。

一方環境省が、地域循環共生圏を第5次環境基本計画に一押しの方針として入れている。都市は、エネルギーや食などを、いわゆる生態系サービスと言われる「自然の恵み」に依存している部分がある。一方で、都市にはお金と人材があるので、それを観光とかエコツーリズムなど農山漁村に提供することができる。それらを地域で循環させることで地域の活力を高める。

島谷幸宏先生がプロジェクトリーダーとなっている球磨川流域での「緑の流域治水」はこの「流域治水」と「地域循環共生圏」のハイブリッドのような考え方と理解している。①気候変動による豪雨の増大が加速し従来のダムや堤防のみの治水対策では対応できない問題。②復興が持続的な地域づくりにつながらず人口減少に拍車がかかっている問題。「緑の流域治水」は、この二つの問題を同時解決していくこととするものである。

【デジタル田園都市構想】

国が進めているデジタル田園都市構想(D構想)には、まだ自然の要素が見えにくい。D構想にGIを組み合わせれば、非常によいモデルなる。D構想は、「心豊かな暮らし」と「持続可能な環境・社会・経済」の実現であるから、かなりの部分がGIと連動できる。脱炭素では、太陽光や風力発電の再生可能エネルギーも大事だが、二酸化炭素の吸収源として自然・森林と連動ができる。

今後の方向性としては、流域治水と地域循環共生圏を掛け合わせた「緑の流域治水」が球磨川流域で日本の最先端のモデルとして動いているが、ここにD構想の概念も入れる。GIは脱炭素で先行しているが、生物多様性や自然共生といった考えもすっかり入れた上で、GIとD構想の概念を上手く組み合わせて、地域に実装していく段階に入っている。

基調講演②

「自然をフリスにする経済・社会への大転換」

MS&ADインタースタッフ総研(株)
フェロー 原口 真氏



【ネイチャー・ポジティブという考え方】

生物多様性とネイチャー(自然)に関しては、カーボン・ニュートラルと同様に大きな「うねり」が始まりつつある。それがネイチャー・ポジティブである。カーボンについては2050年までにゼロに持って行くと日本政府も脱炭素宣言をした。生物多様性の損失は日本にしていると実感がかかわらないが、世界的には自然がドンドン失われている。

現在、この自然が壊されていく状況を何とか2020年代に底打ちさせて、2030年までに回復軌道に持って行き2050年までに完全回復を目指している。



2022年12月にモントリオールで開かれる「生物多様性条約第15回契約国会議」(COP15)で、具体的にどう目標設定するか議論される。

ところで現在、金融の世界は脱炭素もだが、生物多様性保全がビジネスチャンスであるとして動き出している。

単純に自然保護の活動も重要だが、その上に持続可能な生産や活用などをやっていくと新しい商品やサービスが必要になってくる。そこにビジネスチャンスが生まれ、今までにない新しい産業が伸びていくことが予測されている。

【生物多様性条約と地球の新たな時代へ】

この12月にCOP15で議論される2030年目標には、世界の陸と海でそれぞれ30%の自然保護・保全地域をつくることが盛り込まれる。日本の場合、国の法律や自治体の条例で保護区がすでにありますが、それだけでは30%を達成できないため、民間保護地域(OECM)も自然共生エリアとして認定することを環境省が主導して始める。

都市緑化にも関係する話だが、これまでの生物多様性条約では保護地域として大自然を守るような目標が多かった。しかし世界的に都市化が進み状況が変わってきており、今後は、いかに都市の生活者が自然からの恵みを受受して健康で豊かで幸福な暮らしを送れるか、を目標ととらえ、そのためには「自然の力」が必要なので、保護・保全して賢く利用しよう、という考え方になってきている。

コロナ禍になっ

て、身近な公園で密を避けて散歩するとうような生活様式も増えたが、北九州市にあるような「緑と水辺」の重要性が増す中で、それを市の強みとしてどう活かしているかという時代に入っている。

【SDGsとは。その構造から考える】

地球全体の健康で言えば、まだ化石燃料の使用や人口増大は続いており、地球環境を維持できる状況を超え持続可能ではなくなってきた。

地球の健康を凶化してみるとまず「環境」があつて、その上にそれより小さい「社会」があり、さらにその上に「経済」がある。コレーションケーキのような構造と捉えることができる。現在は一番下にある「環境」より「経済」が大きくなってきている状況で非常にバランスが悪く不安定である。そのため世界的に起きている資源が足りないとかウッドショックもそうだが、少しのインフレなど経済変動に対して、物凄く弱い状態になっている。余裕がない。これをどうやって解決するかと出てきたのが、SDGsという道標である。様々な課題があることをみんなで認識して、一緒に解決しましょう。

SDGsには、17のゴールがある。そのまま横並びにするとよくわからないが、まず基盤に一番大きい「環境」があり、その上に次に大きい「社会」、そしてその上に「経済」がある三層構造に17のゴールをそれぞれ配置することで全体を捉えることができる。

【ネイチャー・ポジティブな経済・社会へ】

20世紀型の経営は、環境破壊など外部不経済を考えなくて良かった。経営者は、銀行からお金を借りて、大量生産、大量消費を謳い高品質・低価格のものを提供することが存在意義であった。資源もお金を出せば買え、働き手も沢山いた。これからは、

働き手はいない。地下資源ばかり使っているわけではない。再生可能な資源を使わないといけない。そして環境や社会も自分達の会社を成長させるための大事な資本として経営に取り組んでいく必要がある。

世界的な流れとして、そのような経営ができる、環境や社会に配慮できる会社に対して、投資家が投資したい、また融資したい、となっている。これがネイチャー・ポジティブな社会のイメージである。

会社のミッション(使命)は、「良い物を安く」から、「環境や自然、社会、人にもプラスに」となり、それを追求していくことで、ビジネスが成長していく時代になっている。

第46回 北九州市都市緑化祭への出展協力

10月16日(日)、若松区のグリーンパークで開催された都市緑化祭に、事業委員会が若松支部の協力を得て「グラウンドゴルフdeホールインワン」と銘打ったゲームを出展し、子供から大人まで約200人の方がゲームに参加されました。

秋晴れの中、公園で遊ぶ面白さを満喫できたのではないかと思います。



到津の森公園 園内緑地保全整備支援活動

2月21日(火)、協会の公益活動(地域貢献)の一環として、園内の整備活動を行いました。13回目の今年は、会員企業から約50名が参加し、『郷土の森林』や『草原の世界』周辺の樹木の剪定や除草などを行いました。当日は時折小雪が舞う寒い中での作業でしたが、市民によって支えられている当公園の緑地管理や保全活動を今後も継続していけるよう努めてまいります。





初めまして、八幡西区役所まちづくり整備課の川浦麻莉菜です。
2020年に入職し、今年で四年目になります。

出身は宮崎県で、北九州市には大学の先生の紹介がきっかけで就職しました。故郷よりずっと都会な北九州市の生活にもようやく慣れてきたところですが、冬の底冷えするような寒さはいまだに慣れそうにありません。

大学は宮崎県立農業大学校を卒業した後、南九州大学の環境園芸学部で3年次編入して造園について学んできました。

農業大学校は2年間という短い在学期間でしたが、自分が担当する生産物の圃場管理を自分一人だけで行うなど、大変ですが貴重な体験をさせていただきました。私はビニールハウス1棟分で花の生産を行っていますでしたが、天候・温度に応じて窓を開閉したり、遮光カーテンをかけたたり、肥料・殺菌剤の散布をしたりなど日々やるものが

沢山あって毎日忙しく充実した学生生活を過ごしました。

農業一辺倒だった私が造園に興味を持つきっかけは、花卉の生産と造園のどちらも行っている企業にインターンシップでお邪魔したことです。自分たちが作った花がお庭を華やかに彩っているところを見て、育てるばかりでその花がどう生かされているのか見る機会がなかった私は、造園も楽しそう!と思い、造園について学ぶことのできる南九州大学に編入して造園の知識や技能を身に付けてきました。

北九州市に造園職として入職して市内の公園の整備を行うことになり、南九州大学で学んできたことを糧にしつつ、工事の積算や業者さんとのやり取りなど、学校では教えてもらえないことを多く学びました。3年間で失敗や躓くこともたくさんありましたが、自分が設計した遊具やベンチなどを市民の方に使って貰えているところを見るのはとても嬉しく思います。市民の方々が利用しやすい公園をつくっていきけるように、これからも努力していきたいと思いません。よろしく願いいたします。



次世代を担う経営者たち

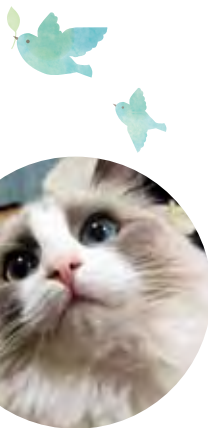
岡崎建工株式会社 経営企画部長 岡崎健太郎

みなさん、こんにちは。岡崎建工株式会社の岡崎健太郎です。

簡単ではありますが、私の経歴を紹介させていただきます。私は北九州市で育ち、福岡県立小倉高等学校を卒業後、京都府の同志社大学に進学しました。学生時代は、プロ野球選手を夢見て、野球漬けの日々を過ごしていました。大学卒業後は、株式会社三菱UFJ銀行に就職し、中小企業を相手に法人営業を行っておりました。その後、6年間の勤務を経て、現在の岡崎建工株式会社に転職し、今年で丸5年が経過しようとしています。家族構成は、妻と娘、猫の4名になります。

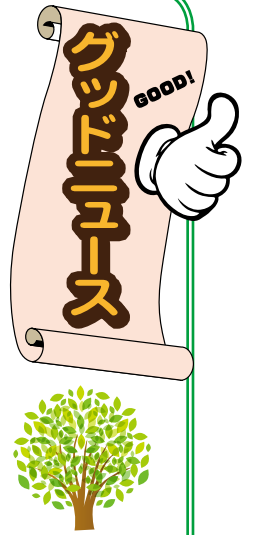
まだまだ造園に関する技術、知識、経験に乏しく、力不足を感じることが多い私ですが、仕事をすることで大事にしていることがございます。それは、あらゆる人に対して尊敬の念を持って接することです。顧客はもちろん、業界の先輩方、職人を始めとする従業員の方々、家族など、それぞれバックボーンや考え方が違います。仕事はひとりではできません。一方的に自分の考えを押し通すのではなく、常に対話を心がけ、より良い人間関係が構築できるよう努めています。

足元の目標は、従業員のみなさんが存分に力を発揮できる環境づくりと



愛猫のシェリー





樹木医試験合格者のご紹介

令和4年度の樹木医試験において、当協会員である(株)水野文化園・岡本暁さんと岡崎建工(株)・藤野洋平さんが合格されました。お2人にお話を聞いてみました。

株式会社水野文化園 岡本 暁さん

① 樹木医を目指した理由は？

きっかけは私が30歳の頃、父親が樹木医関連の勉強を始め、何気なく傍らで資料等を見ているうちに、とても興味深く一気に惹かれたところからです。

当時は全く違う職種でしたので樹木の知識はゼロに近い私には大きな決断をしたことになりました。

② 何に重点を置いて勉強しましたか？

まずは転職です。資格取得には実務経験が7年以上要するので(令和5年から5年以上に軽減されました)造園業に就きました。

仕事に従事する中で実践的な技術や知識を学び、樹木に関する書籍を読み、最終的には「樹木医の手引き」と過去の問題集を利用して挑みました。

③ 今後、どんな役割を果たしたいですか？

たくさん経験の積み重ねを深めて、樹木の診断

や樹勢回復に携わると共にその周りの自然環境や人との関わり方も考えていく必要があると思います。

また自分が得た知識を周囲の人たちにも広め、業務に役立てたいと思います。

岡崎建工株式会社 藤野 洋平さん

① 樹木医を目指した理由は？

造園の業務を行っていく中で、日頃から取り扱う植物について正しい知識を習得するために、樹木医資格の取得を目指しました。

② 何に重点を置いて勉強しましたか？

(一財)日本緑化センターから出版されている「樹木医の手引き」を中心に、何度も読み返し学習しました。他の資格試験と違い、対策本などがなかったため、自身で過去10年の過去問を研究し、傾向をまとめ、優先順位をつけて学習しました。

③ 今後、どんな役割を果たしたいですか？

樹木医研修を受け、都市における樹木の存在意義を再認識しました。我々が生活していくうえで、都市緑化は必要不可欠であり、樹木を含めた植物なくして人間は生きていくことはできません。都市緑化の質の向上のために、今後も研鑽を積み、習得した知識・技術を業務に活かし、それを周囲や子どもたちへ伝えていくことが樹木医の役割だと思います。



令和4年度 協会活動報告

3月9日・10日

福岡県立行橋高校からの依頼によりインターンシップの受け入れを会員4社が受諾し、生徒11名が参加。

年間

● 広報委員会

広報紙「みどり北九州55号」の編集作業及び協会ホームページの更新作業を実施。

● 支部活動

響灘緑地研修館の外構整備・管理を八幡南支部・東戸支部が実施(6月4日、11月15日)。

● 地域貢献活動

北九州市主催「第27回花と緑のまちづくりコンクール事業」(建設局主管)、「北九州エコライフステージ2022」(環境局主管)へ協賛。

● その他

「北九州市立学校校内樹木危険度調査業務」を受託。

令和4年

6月15日

定時総会を開催(会場・響灘緑地研修館)。令和3年度事業報告及び決算報告が承認、令和4年度の事業計画及び予算の報告がなされた。また、総会終了後、表彰式を行い、前協会長の水野貞明氏(業績表彰)並びに岡崎建工(株)の篠田環氏(永年勤続)へ表彰状と記念品が授与された。(総務財政委員会)

10月16日

「第46回北九州市都市緑化祭」におけるイベントに出展協力。(事業委員会・若松支部)

11月11日・13日

「伐木作業(チェーンソー) 特別教育」を開催。(技術委員会)

11月22日

第14回「都市と自然の共生シンポジウム」を(一財)日本造園修景協会福岡県支部との共催で開催(会場・響灘緑地研修館) ※3・4頁詳細 (総務財政委員会)

令和5年

1月6日

賀詞交歓会「新春みどりの集い」を開催(会場・JR九州ステーションホテル小倉)。

2月21日

「到津の森公園」において、園内緑地保全整備支援活動を実施。(事業委員会)



支部	商号	所在地	TEL・FAX	支部	商号	所在地	TEL・FAX	
門司	九州環境土木(株)	800-0112 門司区大字畑 46	481-3484 481-3483	八幡南	(有)岡野造園土木	807-0845 八幡西区永犬丸南町 2-13-38	613-3804 611-2952	
	(有)西新緑地建設	800-0114 " 吉志 5-12-10	481-5467 481-5476		(有)河村造園	807-1153 " 岩崎 4-1-34	618-7170 618-7515	
	(有)豊西緑地開発	801-0823 " 春日町 25-24	341-3456 342-1111		(有)サン緑化	807-1114 " 吉祥寺町 7-40	618-1567 618-4684	
	(有)松本造園建設	801-0811 " 大字大積 666-8	341-1501 341-1502		(有)田代造園	807-1262 " 野面 740-1	617-1792 617-4518	
	(株)水野文化園	800-0112 " 大字畑 46	481-4600 481-4680		東洋緑地(株)	807-0854 " 泉ヶ浦 2-22-41	883-8972 883-8855	
	(株)門司造園	800-0101 " 大字伊川 504-9	481-2918 481-2630		(株)中川碧水造園	807-1125 " 池田 2-1-3	618-0822 618-6101	
	(有)門司緑地土木	800-0101 " 大字伊川 504-1	481-1897 481-1993		平方晴宏園	807-0075 " 上津役 3-20-24	612-5677 612-5701	
	(株)青葉造園	802-0023 小倉北区下富野 5-1-3	522-0234 533-7922		(株)緑研福岡支店	807-1142 " 楠橋東 2-1-23	647-0455 647-0456	
小倉北	(有)アートグリーン	802-0033 " 富野台 11-8	533-3735 452-1340	八幡北	(有)医生ヶ丘産業	807-0803 " 千代ヶ崎 3-1-6	601-8688 601-5338	
	朝日工産(株)	803-0853 " 高尾 1-38-5	592-4910 592-4261		(株)折園	807-0863 " 大膳 1-14-22	601-1528 691-3063	
	内山緑地建設(株)北九州支店	803-0841 " 清水 1-12-15	581-2741 571-5392		(株)九州緑化建設	806-0055 " 幸神 4-4-3	642-1267 641-0859	
	(株)梅田造園土木	803-0861 " 篠崎 3-22-5	592-0516 592-0520		(株)古賀造園	807-0806 " 御開 3-1-5	601-0495 601-9574	
	岡崎建工(株)	803-0846 " 下到津 5-9-22	581-4327 581-4632		(有)清水造園	806-0047 " 鷹の巣 2-6-30	631-0694 631-0703	
	北九州東部緑地管理(株)	803-0814 " 大手町 5-23	591-1487 591-1489		(有)千成造園土木	807-0875 " 浅川台 1-8-1	603-8050 603-8071	
	(株)九州造園	802-0026 " 大島 2-10-1	531-6121 531-6123		大成緑地建設(株)	806-0055 " 幸神 2-5-17	641-7113 647-5177	
	(株)九州緑化産業北九州支店	803-0856 " 弁天町 5-8	561-9027 561-9208		(有)古門造園	806-0013 " 清納 2-8-19	616-7118 616-7119	
	(株)西日本緑化	803-0836 " 中井 3-3-15-107	581-4128 561-5476		(有)山代造園土木	807-0852 " 永犬丸西町 2-1-10	693-9718 693-9706	
	(有)緑地管理中山工房	803-0835 " 井堀 4-2-16	776-1483 613-0447		(有)渡辺造園	807-0826 " 丸尾町 11-3	602-8336 602-8362	
	青葉緑地建設(株)	802-0826 小倉南区横代南町 3-12-15	962-6175 962-6904		遠藤土木(株)	808-0142 若松区青葉台南 2-4-14	742-0331 742-0332	
	(株)環境造園	800-0207 " 沼緑町 1-19-15	471-6390 472-4070		(株)オーエグループ	808-0121 " 大字竹並 3037	741-0648 742-0370	
	(有)協同造園土木	800-0207 " 沼緑町 1-8-75	473-1509 473-3911		岡崎造園(有)	808-0001 " 小石本村町 2-1	771-9255 771-8580	
	(有)グリーンカンパニー	800-0228 " 長野 1-8-22	474-5677 474-5733		荻迫緑化	808-0146 " 高須西 2-6-17	741-6816 741-6819	
グリーン・ライフ(株)	802-0826 " 横代南町 5-5-1	230-0472 230-0137	(有)三司緑化建設	808-0106 " 片山 1-2-33	701-1565 791-7955			
小倉造園(株)	802-0821 " 横代北町 5-22-36	962-1136 962-1046	三宮造園(株)	808-0104 " 畠田 3-4-12	701-0422 791-9223			
(有)小倉南緑地	802-0979 " 徳力新町 1-15-23	963-0769 961-5649	(有)洞北緑地建設	808-0133 " 大鳥居 14-2	741-1820 741-1848			
総合緑地建設(株)	803-0261 " 大字合馬 301	453-1678 453-1677	日本緑営(株)	808-0104 " 大字畠田 943-1	791-0440 791-0441			
小倉南	(有)日浦緑地建設	800-0201 " 上吉田 2-15-33	473-5296 473-5256	賛助会員				
	豊州造園建設(株)	800-0242 " 津田 5-9-24	473-6967 473-8084	商号	所在地	TEL・FAX		
	(株)みらい	800-0222 " 中曾根 3-7-32	472-5999 472-4999	(株)成光社	803-0853 小倉北区高尾 2-5-33	561-1821 561-1820		
	(株)守恒造園建設	802-0986 " 志井鷹羽台 4-3	962-4211 962-4272	日本乾溜工業(株)	806-0046 八幡西区森下町 27-36	631-0237 622-2357		
	山本興業(有)	803-0261 " 大字合馬 234-1	451-2312 451-2312	(株)グリーンマテリアル	800-0212 小倉南区大字曾根 3958-1	967-7328 967-7329		
	東戸	(株)グリーンニッポ	805-0017 八幡東区山王 3-14-28	662-3201 671-1423	編集後記			
		阿部緑花(株)	804-0091 戸畑区三六町 7-3	881-7686 647-6233	この度も多くの方のご協力のおかげで『みどり北九州』第55号を送り出すことができました。第55号の発行のご協力頂きました皆様へこころよりお礼申し上げます。			
		菅原造園建設(株)	804-0094 " 天神 2-2-21	883-1120 883-1121	先日、某放送局の『パタフライエフェクト』フレーとジョブスの放送回を2度目ですが、おもわず視てしまいました。この二人の関係にあるパタフライ効果の存在にびっくりしました。また、そのなかでフレーの提唱した「宇宙船地球号」という世界観も語られるのですがこの言葉のもつ意味合いがデカくて深く……。編集委員 HH			

緑について気軽にご相談ください。



一般社団法人北九州緑化協会

TEL:093-482-2200 または 093-482-8018

編集後記

この度も多くの方のご協力のおかげで『みどり北九州』第55号を送り出すことができました。第55号の発行のご協力頂きました皆様へこころよりお礼申し上げます。

先日、某放送局の『パタフライエフェクト』フレーとジョブスの放送回を2度目ですが、おもわず視てしまいました。この二人の関係にあるパタフライ効果の存在にびっくりしました。また、そのなかでフレーの提唱した「宇宙船地球号」という世界観も語られるのですがこの言葉のもつ意味合いがデカくて深く……。編集委員 HH

『響灘緑地研修館』貸出のご案内

『響灘緑地研修館』は、公益目的の研修活動であれば協会会員以外の方もご利用いただけます。詳しくは協会ホームページをご覧ください。

所在地 〒 808-0124 北九州市若松区大字安屋 900 番地 11

電話：093-482-8018 FAX：093-482-8019

E-mail：info@kita-ryokka.or.jp

